



No.45
2020.9



令和2年度PTA活動に対する考え

島根県PTA連合会 会長 原 完次

平素は、島根県PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

全国的に広がり続ける新型コロナウイルス感染症により、生活環境はもちろん教育環境においても大きな影響が出ており、いまだに姿の見えないウイルスに対しての脅威と先の見えない不安な状況が続いています。

その中、学校行事においてもすべてが中止、特に最高学年の児童生徒の皆さんはこれまで頑張ってきた成果を発揮する場を失い悔しい思いをさせていただきました。そのことで今後の進路にも不安を感じておられるのではないかと思います。そして、子どもたちがなにもできていないという状況でPTA活動をしなないといけないのかといった思いをお持ちの方も多と思います。

本来であれば10月17日に松江市において島根県PTA連合会の研修大会の開催を予定しておりました。しかし感染拡大の防止と事前および当日の準備運営をしていただく多くのPTA会員の皆様に対して多大なご負担を避けたいという思いから非常に残念ですが開催の中止を決定させていただきました。

県P連としての今年度のPTA活動の考え方については、県内の多方面からのご参集いただく会議や研修会については状況を見て中止を検討することとしております。また、各市郡P連においても同様の考えで開催の可否をご検討いただいております。

誰もが経験したことのない状況の中で、各単位PTAでも活動することに迷い賛否はあるかと思えます。

そして「今年のPTA活動は行いません」と言うことはとても簡単なことです。そう決めてしまえば集まって考える必要がなくなるのでとても楽になります。そうなるとPTA活動をしなくても何も影響はない組織自体をなくしてもいいのではないかという考えが生まれてくると思えます。

このコロナ禍で何もせずにいると、一旦終息したが再び同じ状況になったときに何もできない状況を繰り返してしまうのではないかと思います。

今年のPTA活動としては何もできないかもしれませんが例年の活動をするのではなく、今できることや次年度につながる活動を考えて行く年にしていくべきだと思います。例えば行事の時期をずらしたり分散開催やオンラインやリモートなどでできないか、またアンケートなどでアイデアを集めたり、子どもたちが今感じていること、やってみたいことをすくい上げていくのも活動の一つではないかと思えます。できないで終わらせると次へつながるものが残りません。考えて準備をした結果できなかった場合でも次につながる何かが見つかるはずで、休校時を含めこの約半年間で学校や家庭生活の中には多くの課題があることがわかってきていると思います。そういった問題を抽出し学校と協議をして考える時間にあてるのもよいのではないのでしょうか。

そして、子どもたちの「学びを止めない」ためにも、今できることを保護者と教職員が協力し考えるのがPTAの役割ではないかと思えますので、引き続きPTA活動に対して皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「コロナ禍における PTA行事について」

島根県PTA連合会 副会長 **長谷川 修二**
(松江市PTA連合会 会長)



今年の10月に開催予定で昨年より準備を進めておりました島根県PTA連合会研修大会松江大会は、コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、やむなく中止する決定となりました。

この間、松江市PTA連合会の皆さんには準備作業に大変お世話になり、ありがとうございました。

コロナウイルス感染症の影響で、県内各小中学校のPTA活動も中止や延期されるなど、大きな影響を受けておりますが、社会生活においても臨時休校等があり、各家庭においても工夫をされながら子どもたちを見守って頂いておりますと拝察しております。

さて松江市PTA連合会では、激変したコロナ禍での生活におけるお困り事やお悩みについて、会員の皆さんよりアンケート調査を致しまして、グラフ化して公表し会員間で共有出来るように取り組んでおります。

またPTA活動の実施状況を理事会において情報交換することにより、各小中学校ごとの活動に役立てております。

このコロナ禍におけるPTA活動は、そもそも皆さんが初めての経験であり、行政や社会生活活動においても同じことが言えます。

現在コロナウイルス感染症についてはたくさんの知見が集まり、当初ほどのパニック的な取り扱いは無くなって

きておりますが、今後も1人1人が正しい情報により正しく恐れて、正しく予防する(手洗い、消毒、換気、マスクの着用等)ことや、きちんと対応していくことが肝要であると思います。

その上でウィズコロナにフェーズが移ってきている現状を正しく認識して、出来る活動はきちんと予防に努めてPTA活動を展開していくことや、万が一にインフルエンザなどと一緒にコロナ感染が拡大するような状況になった場合は、躊躇なく活動の延期や中止を判断することも重要と思えます。

新しい生活様式が叫ばれ、リモートワークやテレワーク、オンライン会議などで働き方が大きく変わってきておりますが、学校における授業のあり方も大きく変わりつつあり、休校時におけるオンライン授業や、登校時の授業におけるタブレット端末等を使用したICT化は、今後増々進展していくことは確実であります。

PTA活動もオンライン会議や研修を導入したり多用化するなどの事業改革をすることで、会員の皆さんの負担を軽減し有意義な活動を展開することが、ウィズコロナでありコロナに勝ったことに繋がると思います。

「今、学校では」

島根県小学校長会 会長 **中村 次郎**
(松江市立母衣小学校 校長)



小学校では、今年から新しい学習指導要領が全面实施されています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善もキーワードの一つに挙げられています。

子どもたち相互の関わり合いを推進すべきところ、コロナ禍により「新しい生活様式」が学校生活でも求められています。ペアやグループでの対話を用いた学習も控えている現状です。

今、学校では「安心できる環境づくり」への取組を学校全体で行っています。「三密」を防ぎながらマスクや手洗い、消毒といった感染症予防対策は目に見える環境づくりの代表です。そして、目には見えづらいものですが、偏見や差別をなくし、お互いを大切にしようとする心を育む取組も

大切にしています。

感染するリスクは誰にでもあります。感染症を正しく理解し、感染した人をいたわる心、回復を願う心、回復後を支える心、医療や感染防止に取り組んでいる人たちを応援する心といった「心のありかた」を子どもたちの心にも育むことは、一人一人の人権を大切に世の中を創り上げることに繋がります。

子どもたちの心育では、学校、家庭、地域が連携して働きかけていくことが大切です。家庭での大好きな家族からの一言は、子どもたちの心に大きく響くことと思います。家庭では、ぜひ対話をたくさんしてください。

「コロナと学校とPTA」

島根県中学校長会 会長 門脇 岳彦
(松江市立第一中学校 校長)



学校現場は、昨年度末から新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に追われています。臨時休校は約40日間(松江市)、緊急事態宣言の解除後、分散登校を経て学校再開となり、新しい生活様式を守りながらの学校生活が続いています。

保護者の皆様には、休校中に家庭での健康管理や学習の支援等、多くのご負担をおかけしました。学校再開後も感染防止対策へ協力いただき、ありがとうございます。

学校では、授業時数の確保や効果的な指導の工夫、感染防止対策の徹底と実施方法を工夫した学校行事や体験活動の計画等、感染状況を注視しながら日々対応しています。

本校では、休校中にPTA役員のネットワークにより、既存の電子黒板等のICT機器を使ったオンライン授業等の可能性を探ってもらいました。PTA役員のこうした積極的な

支援の動きは、今後の学校づくりに欠かせないものと感じました。

予測困難な社会の変化は、コロナという形で我々の目の前に突然訪れました。子供たちには、こうした危機に直面しても、人を大切に、自分で考え判断し、行動する力、すなわち社会で生きて働く力を身につけることが求められています。そのためには、学校やPTAも変化に柔軟に対応できる組織となる必要があります。

コロナ禍の中、これまでどおりが通用しないからこそ、我々大人がこの危機に対して、子供たちの学びを止めないために何が出来るかを一緒に考えていけたらと思います。PTA会員の皆様には、未来を創る子供たちを共に育てるチームとして、今後も一層の連携をお願いします。

表彰おめでとうございます。

長年にわたってご尽力いただきありがとうございました。
本年度、県P連表彰を受けられましたPTA団体並びに個人の皆様をご紹介します。



団体表彰の部

大田市立高山小学校PTA

個人表彰の部

寺 津 豪 佐 松江市立第四中学校PTA
千 原 恵 奥出雲町立横田中学校PTA
浜 村 明 宏 出雲市立河南中学校PTA
中 村 学 大田市立五十猛小学校PTA
大 國 栄 伸 大田市立北三瓶小・中学校PTA

小 川 和 也 大田市立第二中学校PTA
藤 井 拓次郎 江津市立江東中学校PTA
竹 下 壽 一 江津市立桜江中学校PTA
多郎畑 誠 浜田市立第一中学校PTA
杉 本 正 和 浜田市立第二中学校PTA

(敬称略)

はきものを揃えることで気付かされたこと

浜田市立第一中学校PTA 前PTA会長 多郎畑 誠

この度は、会長表彰をいただきありがとうございます。今年24歳となる長女の小学校入学時から、この春三男が中学校卒業するまでの間、みなさまの後押しのおかげで毎年何らかの役に携わることが出来ました。私自身表彰をいただく側ではなく、子どもたち、保護者、先生方など多くのみなさまに感謝を申し上げる立場でございます。

自分の子育てを振り返ってみて、続けていることがただ一つだけあります。それは、帰宅して先ず玄関の「全員のく

つを揃える」ことです。私は、恥ずかしながら親となってはじめてくつを揃えることが出来るようになりました。自分の子ども時代を思い出すと、いつも玄関のくつは揃っていました。母がだまって揃えてくれていたのです。「この人に育てられ、支えられて今がある。」ことに親となって気付きました。子どもたちもいずれ気付くときが来ると思います。色々なこと教えてくれたPTA活動に感謝しております。ありがとうございました。

第42回(令和2年度)全国小・中学校PTA広報紙コンクール

第1次審査(島根県審査)結果について

審査結果(島根県審査) 入賞作品(10点)

最優秀賞	安来市立第一中学校PTA	「清流」	優良賞	江津市立青陵中学校PTA	「青陵かわらばん」
優秀賞	安来市立十神小学校PTA	「学鐘」	優良賞	松江市立津田小学校PTA	「まつばら」
優秀賞	出雲市立大津小学校PTA	「ふれあいおおつ」	優良賞	出雲市立今市小学校PTA	「ウキウキ発信」
優良賞	松江市立第二中学校PTA	「新樹」	優良賞	益田市立益田小学校PTA	「ななお」
優良賞	松江市立湖南中学校PTA	「ひろぼこなん」	優良賞	益田市立吉田小学校PTA	「悠久」

令和2年度 島根県PTA連合会役員

(敬称略)

会長	原 完次	松江市PTA連合会所属	会長(30年度~)	理事	石黒美紀	安来市PTA連合会	会長
副会長	柳井直樹	益田市PTA連合会	会長、益田地区代表	理事	藤原寿成	仁多郡PTA連合会	会長
副会長	長谷川修二	松江市PTA連合会	会長、松江地区代表	理事	鳥谷健二	雲南市PTA連合会	会長
副会長	高橋彰治	飯石郡PTA連合会	会長、出雲地区代表	理事	野々村学	出雲市PTA連合会	会長
副会長	山根智成	大田市PTA連合会	会長、浜田地区代表	理事	波北 顕	江津市PTA連合会	会長
副会長	中村美帆	松江市PTA連合会	県母親委員長	理事	田中康弘	邑智郡PTA連合会	会長
副会長	門脇岳彦	島根県中学校長会	中学校長会	理事	佐々木貴子	浜田市PTA連合会	会長
副会長	中村次郎	島根県小学校長会	小学校長会	理事	伊藤道治	鹿足郡PTA連合会	会長
理事	小新和美	島前PTA連合会	会長	監事	佐伯紀和	益田市PTA連合会	前年度副会長
理事	森 一成	島後PTA連合会	会長	監事	大西なつき	大田市PTA連合会	前年度理事

そばにいられない時だって、親にはできることがある

2020年8月現在の
内容です

島根県PTA連合会 小・中学生総合保障制度 (こども総合保険)

総合保障制度は登下校中だけでなく日常生活での自転車事故によるお子さまのおケガや第三者への損害賠償責任も補償します!

病気補償プラン(Zプラン)は補償期間中の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)発病による入院も補償の対象となります。

※補償開始前の検診(入学前の健康診断等)で指摘された病気など補償開始前に発病していた病気は対象になりません。
※プランによってセットされている項目が異なります。詳しい補償内容はパンフレットをご覧ください。



学校管理下動産補償、熱中症補償は全てのプランにセットされています!

※学校管理下動産とは、学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品のことです。

デジタル保険金請求



オンラインで簡単に保険金請求!

必要書類はメールで送付!

原則3営業日以内に保険金をお支払いします!

●デジタル保険金支払いの対象となる事故

- ・ケガによる入院/通院
- ・持ち物の損害(学校管理下動産)

※ご利用条件とご利用方法は加入者証でご案内します。

※詳しくは、島根県PTA連合会小・中学生総合保障制度のパンフレット・補償概要等をご覧ください。

[引受保険会社] **AIG損害保険株式会社 山陰支店**
松江市伊勢宮町519-1 松江大同ビル6F
Tel(0852)26-2781 Fax(0852)26-2776

S-200499 有効期限2021年9月



編集/発行 島根県PTA連合会 事務局/松江市黒田町538 TEL0852-27-5803 FAX0852-26-7710
E-mail:simapren@ms1.megaegg.ne.jp http://www.shimane-pta.jp 島根県PTA連合会 検索